

れる。

本調査を通じて、記録の記述から第三者によっても間接的・直接的関わり行動を分類することは可能であることが確かめられた。しかし、第三者の目からは関わりの意図を汲みにくい行動（記述）があることもうかがえた。また、生活の流れに即して、直接的支援行為が出現した。介護スタッフが入居者の様子を気にかけていることが判る記述としての間接的関わりは、自覚的に報告されにくいのか、介護者の態度表出に個人差が大きいこともうかがわれた。

E. まとめ

1. 支援行為（関わり）の状況

本調査からグループホーム及びユニット型での支援行為は、食事への支援が中心で会話が多く見られる生活支援重視型である傾向がみられている。また、行動上の問題への対応も極めて少ないことは特徴的である。また、支援行為については個人差が大きいゆえに個人性の尊重の重要性が示唆された。いずれも小規模単位の生活の良い特性が出ていると考えられた。しかし、地域とのつながり、社会性を重視している社会生活支援の実施割合が低いことから、アクティブに暮らすことへの課題が明らかとなった。

2. 属性との関連

高齢者属性との関連性は、認知症の種類や居場所との関連性が明らかとなったことから、疾患別の特徴を理解し、その上で関わりのポイントをしっかりと共通認識することが重要であることが明らかになったことにより、研修、教育体制の早期確立が急務であることが理解された。また、日常生活動作能力の低下や認知症の進行に伴い、摂食、排泄、入浴、移動などの基本的・直接的支援行為の割合も高く、自立支援に向けての声かけ等も確認されたことにより、支援頻度が高いと統計的に定量化されたが、質までは分析できなかったので今後の課題が示された。

また、日常生活動作能力の低下および認知症状の進行に伴い、家事活動の頻度が少なくなっている傾向が認められたことから、そのような状態の高齢者を対象にした社会生活支援や暮らしを豊かにする創意工夫の必要性も示唆された。

3. ケーススタディからの学び

身体機能低下や認知症状に伴う行動への対応を見てみると、機能低下しているからこのような対応がある、といった関わりのロジックがあるのではなく、高齢者一人ひとりの特徴や個人性をベースとし、それを踏まえて暮らしへ参加することにより、主体的に生きる姿勢をつくる関わりが必要であることがケーススタディから理解することができた。

認知症高齢者の意欲やパワーを取り戻すために、介護者の支援が不可欠である。その人にとっての価値ある暮らしを経験することは、その人の能力とは関係なく、全ての人

に与えられた権利であることを考えると、生活に活動性が要求されるであろう。特に、日本では団塊の世代が高齢期を迎えようとしている現状を考えると、認知症ケアの中に、ますます個性や独自のライフスタイル、楽しみへの支援といった精神的ケア要素が重要視されるようになるであろう。

4. 課題

第一の課題は、本研究は介護者の支援行為の実態を把握するためのものであったが、高齢者属性と支援行為の関係性については検討したが、今後、介護者である施設職員の属性を調査し支援行為と比較検討する必要性があると考えられた。

第二の課題は、データ収集の際の協力対象者数である。本研究では68人のユニット特養およびグループホーム入居者に協力していただいたが、68人のデータでは個人性が出るために一般化することは困難であった。参与観察法は協力を仰ぐことが難しい手法ではあるが、今後はサンプリング数を増やす努力は必要である。

第三の課題は、データ分析である。「介助」、「声かけ」、「見守り」、「配慮」などの支援行為（関わり）は、行為というよりもむしろ状態と考えられる関わり行動であるので、頻度でのカウントよりも、時間の長さを用いての測定か、あるいは「頻度×時間の長さ」とするなど、変数を組み合わせての測定がより適切であったとも考えられた。関わりのこの側面を図るためには、実査の精度および指標や枠組みの設定に関して、さらなる検討が必要である。

第四の課題は、本研究では、参与観察という手法を用いたが、その作業に携わった学生、院生、一部介護スタッフからは、「大変な作業だったが、関わりについてじっくりと勉強する良い機会になった」との感想が寄せられている。スタッフにおいては「自分の行動を再点検する意味合いも強く感じた」との言及からも明らかのように、支援行為を記述すること自体がセルフ・モニタリング・スキルを高める教育材料の役目も果たしていたことも示唆された。いずれにせよ、記録の量や詳細さには、個人差も見られているので、結果を比較する際にはその点を考慮する必要もあるだろう。

5. 展望

今調査からグループホーム、ユニットで生活している認知症高齢者への支援行為の実態が把握されたことにより、新たな課題も明らかになった。特に、支援モデル構築にあたり、次のステップとして、第三者からは確認が困難である介護支援の「気配り」「目配り」「見守り」「配慮」「思いやり」などの精神的ケアの部分及び直接的介護の関わりの意図の解明の必要性が示唆された。それを模索する手立てとして、介護場面における介護者の関わりの意図を主観的視点と客観的視点の両者により評価することで、体系化することにより、見えない介護者の心の部分が言語化されると考えられる。

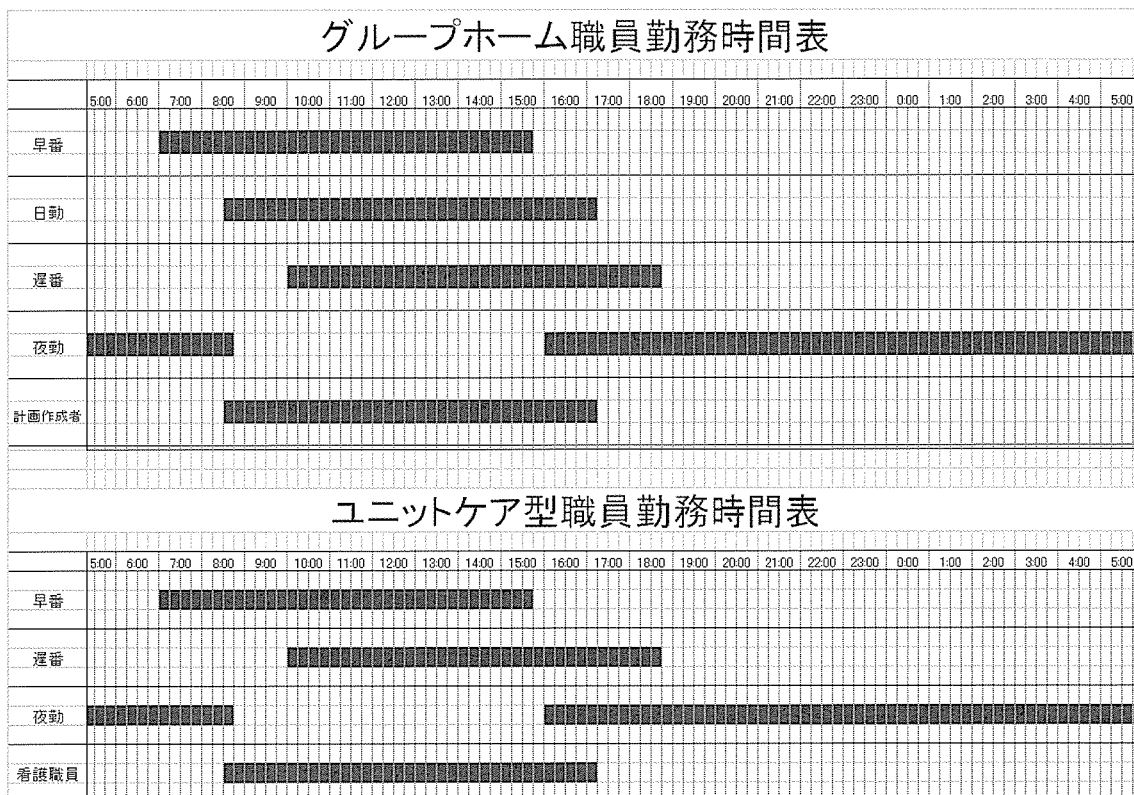


図4-1 職員勤務時間表

表4-1 支援行為(大項目)の度数及び構成比

支援行為(関わり)	度数	構成比
入浴・清潔保持・整容・更衣	479	7.7%
移動・移乗・体位交換	960	15.4%
食事	2,055	32.9%
排泄	239	3.8%
生活自立支援	1,649	26.4%
社会生活支援	209	3.3%
行動上の問題	116	1.9%
医療	333	5.3%
機能訓練	30	0.5%
対象者に直接関わらないこと	171	2.7%
計	6,241	100%

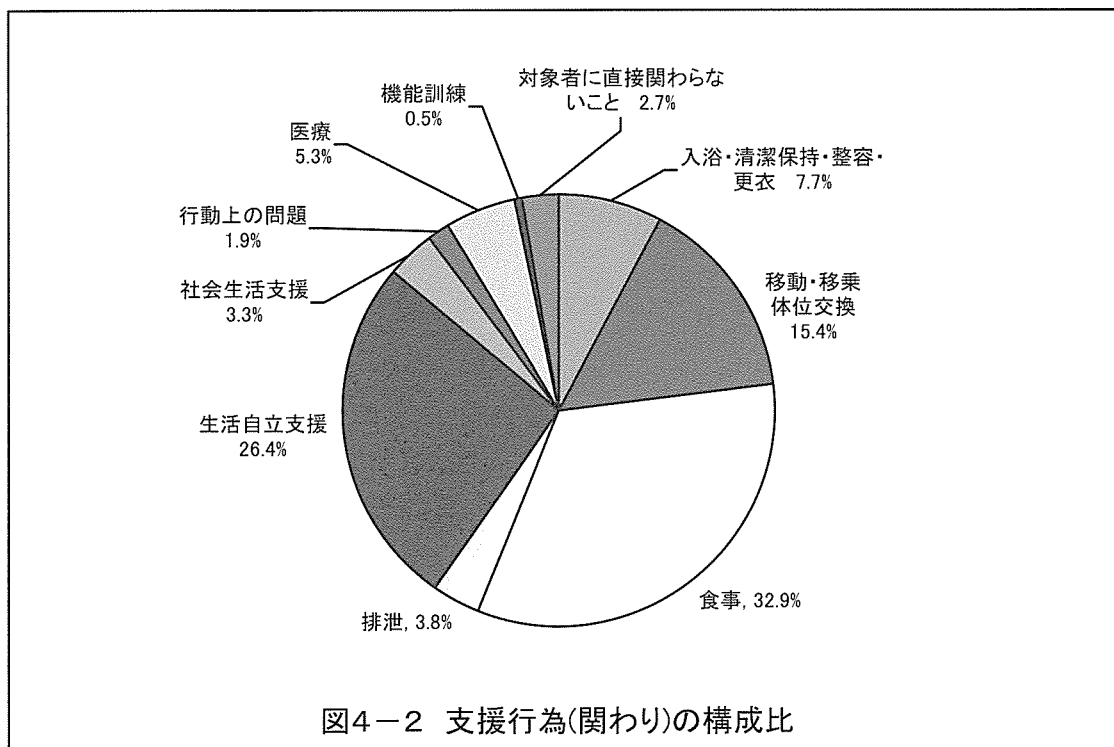


表4-2 支援行為別の1日あたりの頻度の平均(N=68)

	平均値	標準偏差	最小値	最大値
入浴・清潔保持・整容・更衣	7.06	6.67	0	36
移動・移乗・体位交換	14.12	10.75	0	49
食事	30.22	15.11	7	77
排泄	3.51	3.53	0	13
生活自立支援	24.25	22.95	1	99
社会生活支援	2.82	5.57	0	31
行動上の問題	1.71	6.99	0	55
医療	4.91	3.93	0	20
機能訓練	0.44	1.04	0	5
対象者に直接関わらないこと	2.49	3.65	0	18

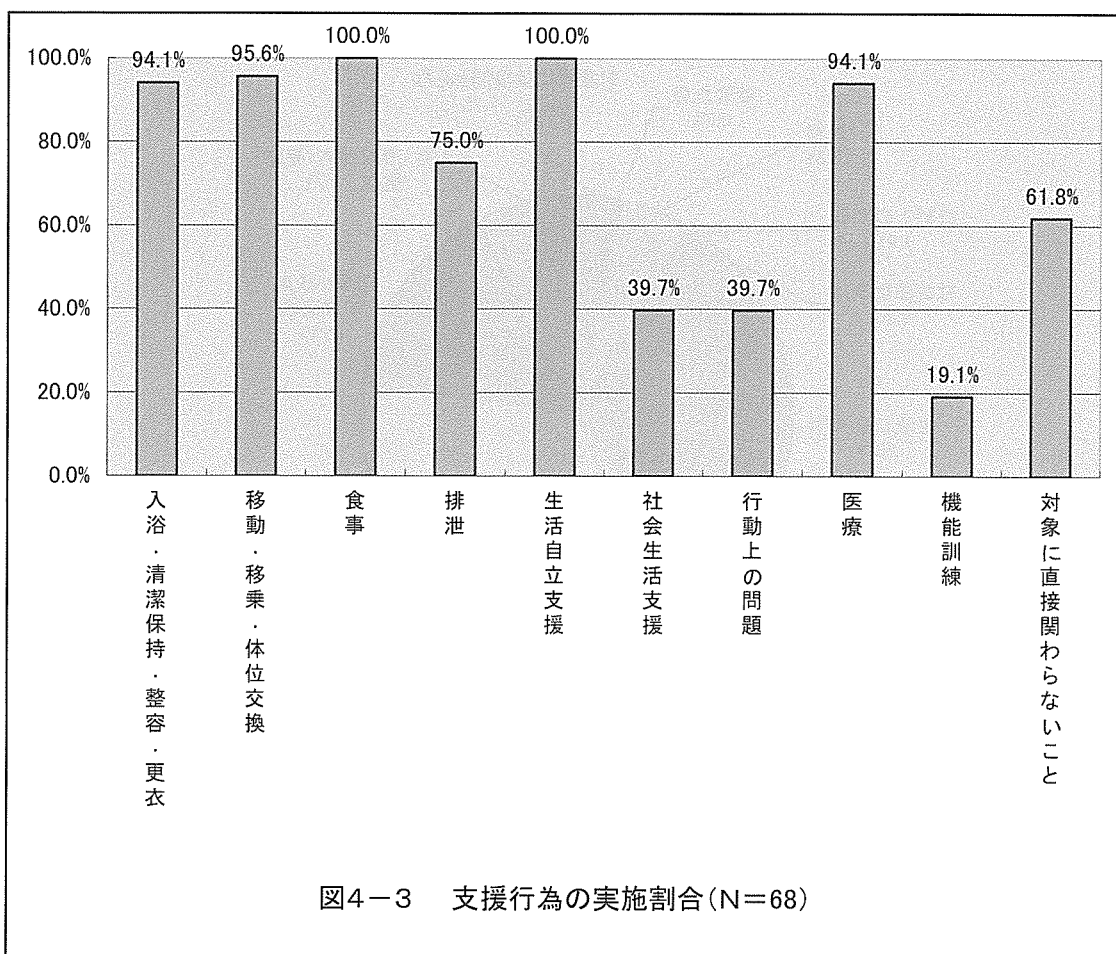


表4-3 支援行為(関わり)実施割合 (N=68)

支援行為	実人数	実施割合
入浴・清潔保持・整容・更衣	64	94.1%
移動・移乗・体位交換	65	95.6%
食事	68	100.0%
排泄	51	75.0%
生活自立支援	68	100.0%
社会生活支援	27	39.7%
行動上の問題	27	39.7%
医療	64	94.1%
機能訓練	13	19.1%
対象者に直接関わらないこと	42	61.8%

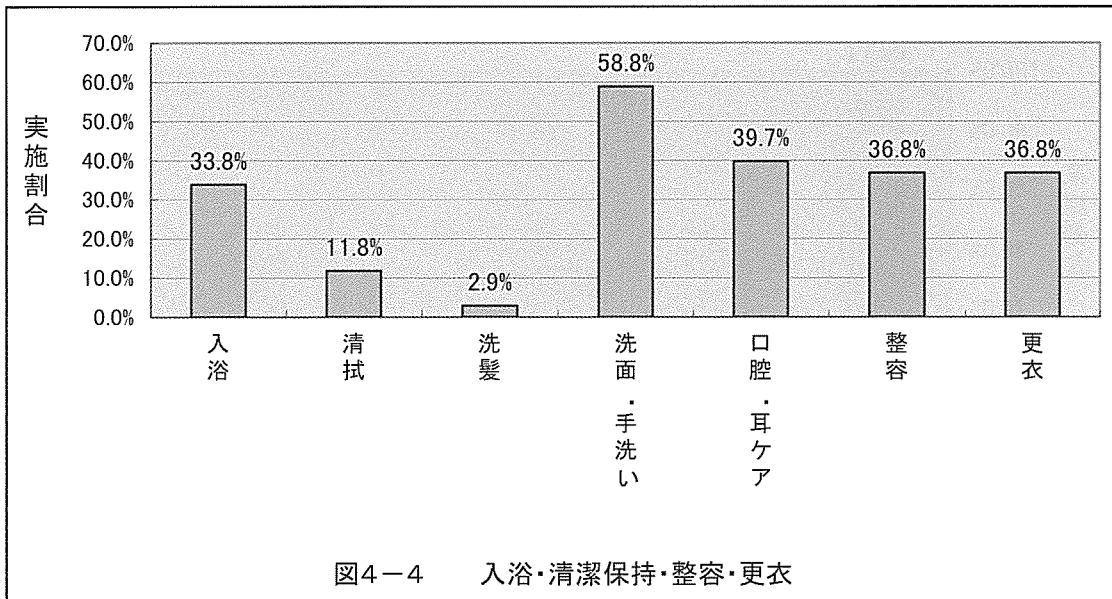
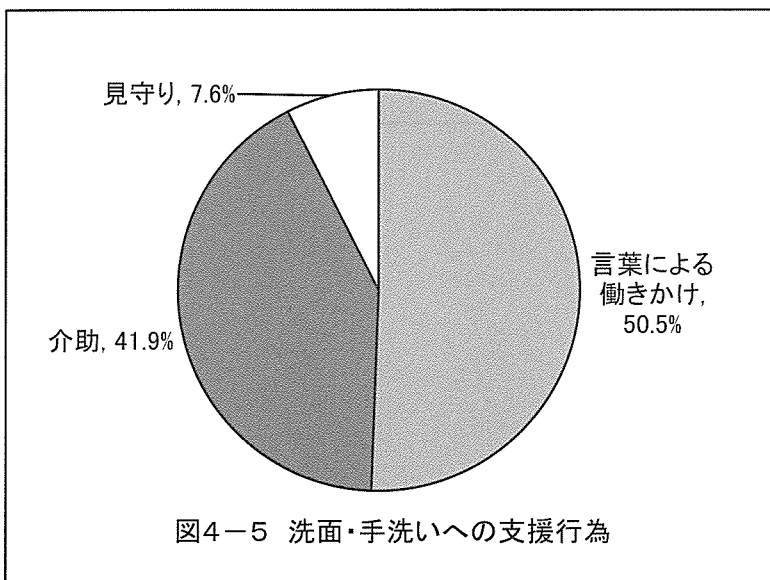


表4-4 入浴・清潔保持・整容・更衣

分類	実人数	実施割合	平均値	標準偏差	最小値	最大値
入浴	23	33.8%	2.16	4.667	0	24
清拭	8	11.8%	0.33	1.561	0	12
洗髪	2	2.9%	0.04	0.270	0	2
洗面・手洗い	40	58.8%	1.66	2.495	0	15
口腔・耳ケア	27	39.7%	1.15	2.420	0	14
整容	25	36.8%	0.69	1.273	0	5
更衣	25	36.8%	0.01	1.120	0	5



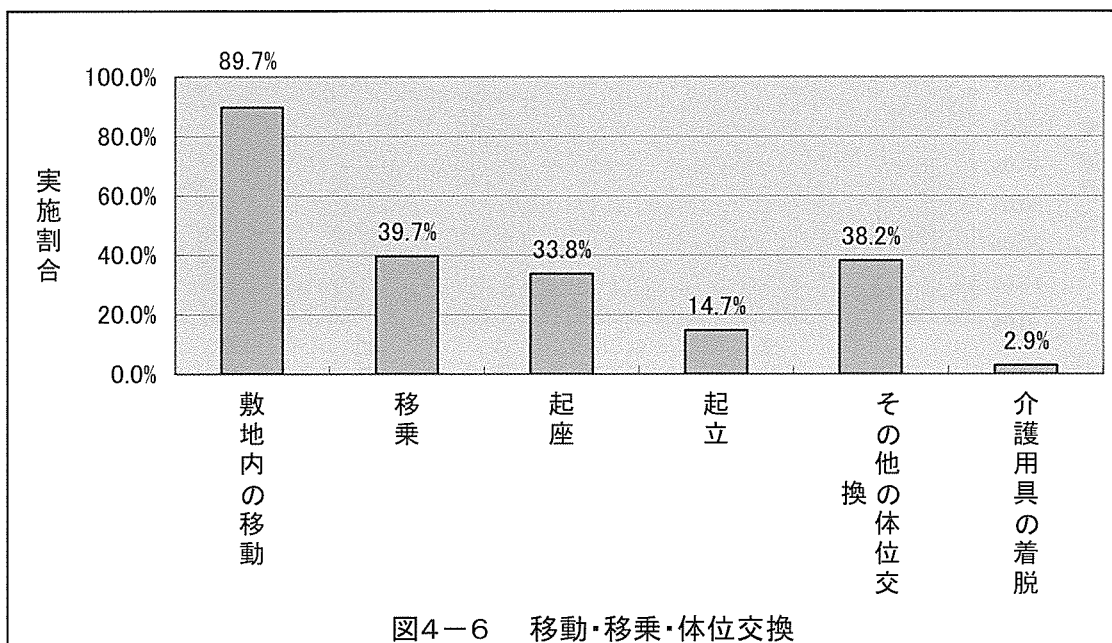


表4-5 移動・移乗・体位交換

分類	実人数	実施割合	平均値	標準偏差	最小値	最大値
敷地内の移動	61	89.7%	9.29	7.19	0	35
移乗	27	39.7%	1.49	2.50	0	12
起座	23	33.8%	1.12	2.75	0	16
起立	10	14.7%	0.71	2.07	0	9
その他の体位交換	26	38.2%	1.49	2.91	0	16
介護用具の着脱	2	2.9%	0.30	0.17	0	1

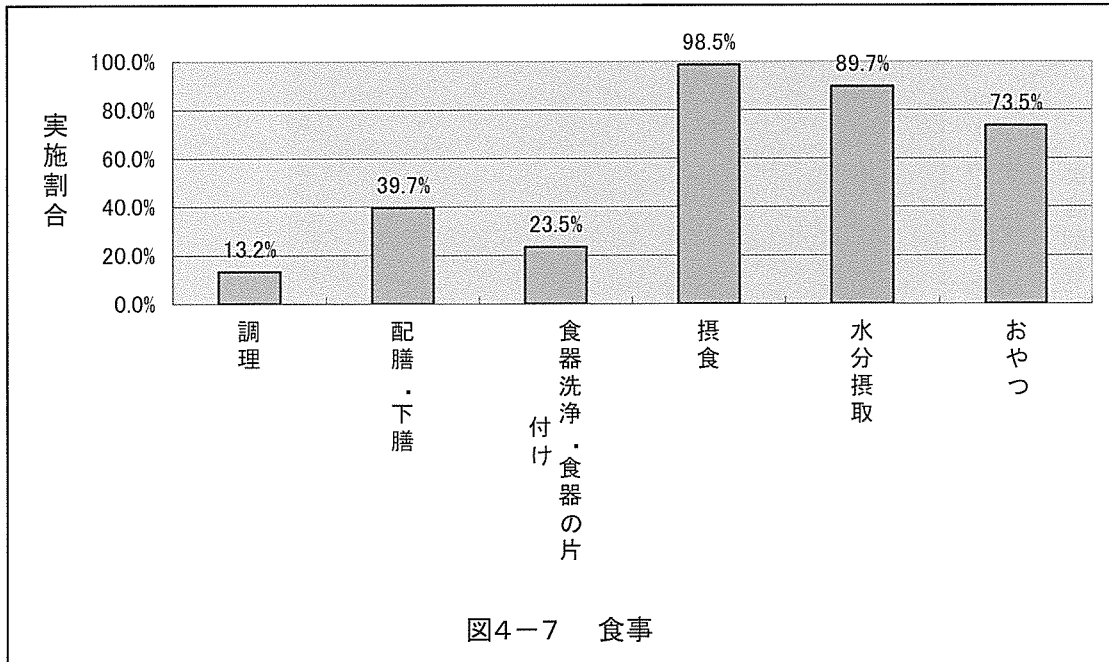
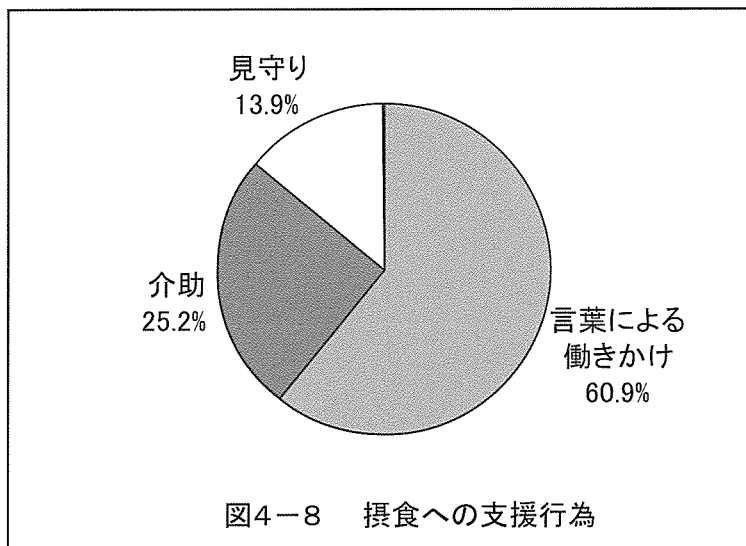


表4-6 食事

分類	実人数	実施割合	平均値	標準偏差	最小値	最大値
調理	9	13.2%	0.74	2.44	0	14
配膳・下膳	27	39.7%	0.96	1.93	0	13
食器洗浄・食器の片付け	16	23.5%	0.53	1.30	0	7
摂食	67	98.5%	19.57	13.31	0	74
水分摂取	61	89.7%	5.96	4.97	0	28
おやつ	50	73.5%	2.44	2.42	0	10



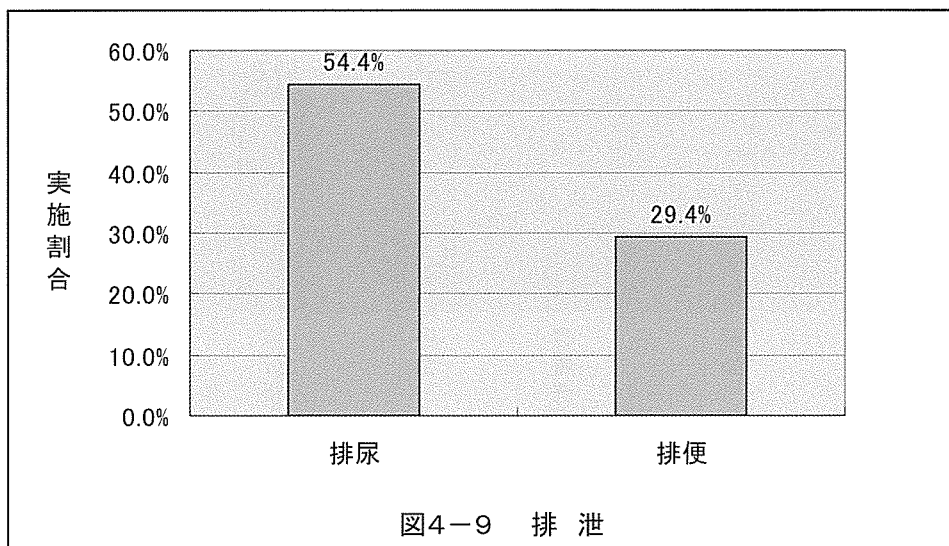
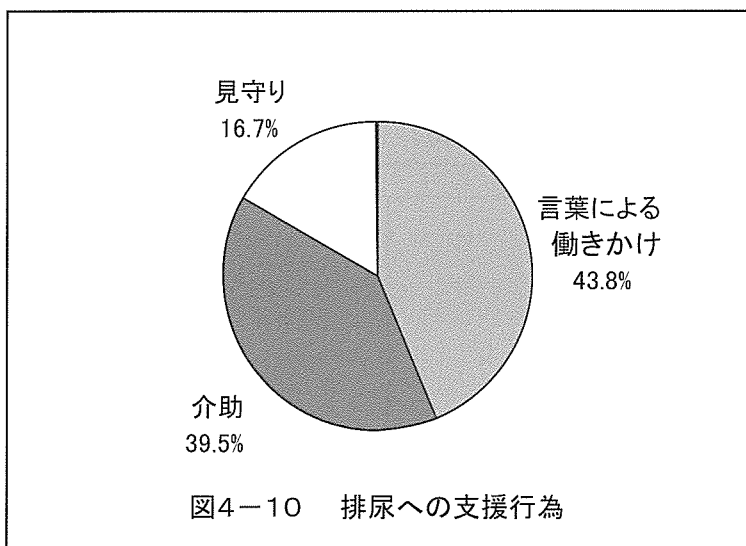


表4-7 排泄

分類	実人数	実施割合	平均値	標準偏差	最小値	最大値
排尿	37	54.4%	2.43	3.24	0	13
排便	20	29.4%	1.07	2.07	0	8



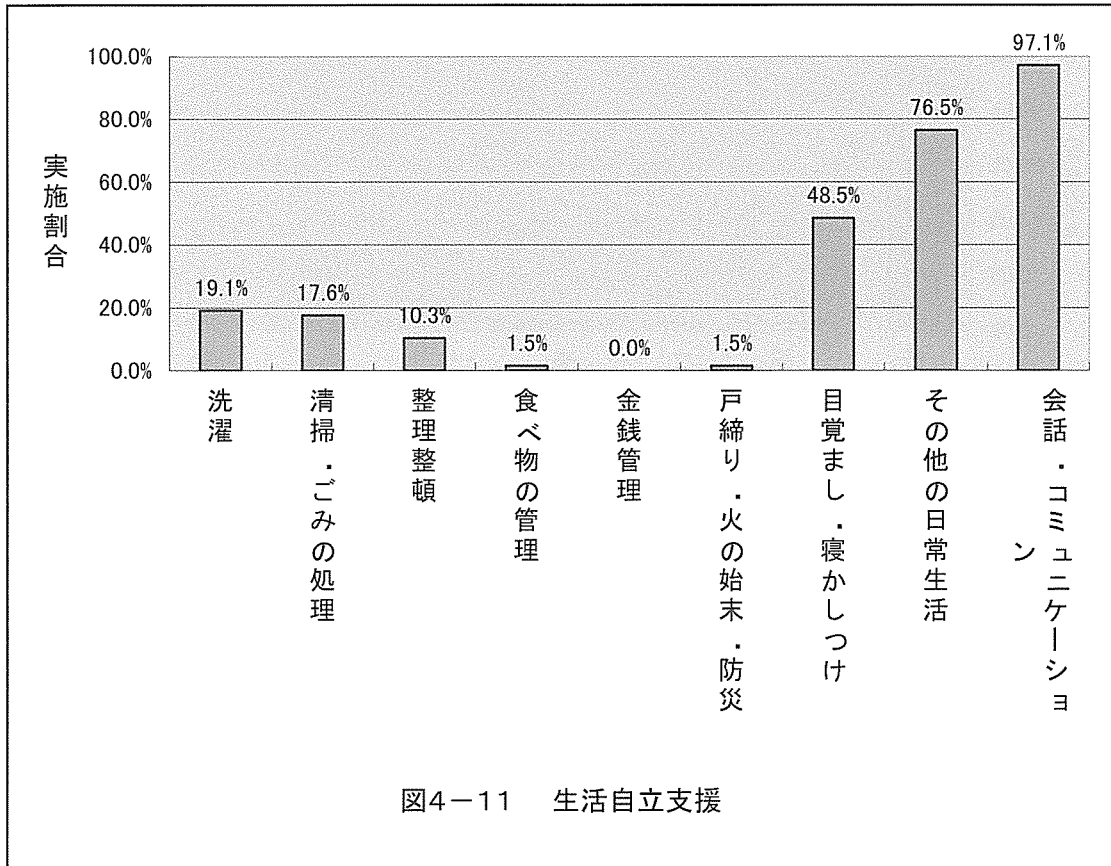


表4-8 生活自立支援

分類	実人数	実施割合	平均値	標準偏差	最小値	最大値
洗濯	13	19.1%	0.47	1.20	0	6
清掃・ごみの処理	12	17.6%	0.62	2.00	0	14
整理整頓	7	10.3%	0.21	0.72	0	4
食べ物の管理	1	1.5%	0.09	0.73	0	6
金銭管理	0	0.0%	0.00	0.00	0	0
戸締り・火の始末・防災	1	1.5%	0.10	0.12	0	1
目覚まし・寝かしつけ	33	48.5%	1.35	2.44	0	15
その他の日常生活	55	76.5%	3.19	4.50	0	22
相談・助言・指導を含む会話、その他のコミュニケーション	66	97.1%	18.31	18.76	0	75

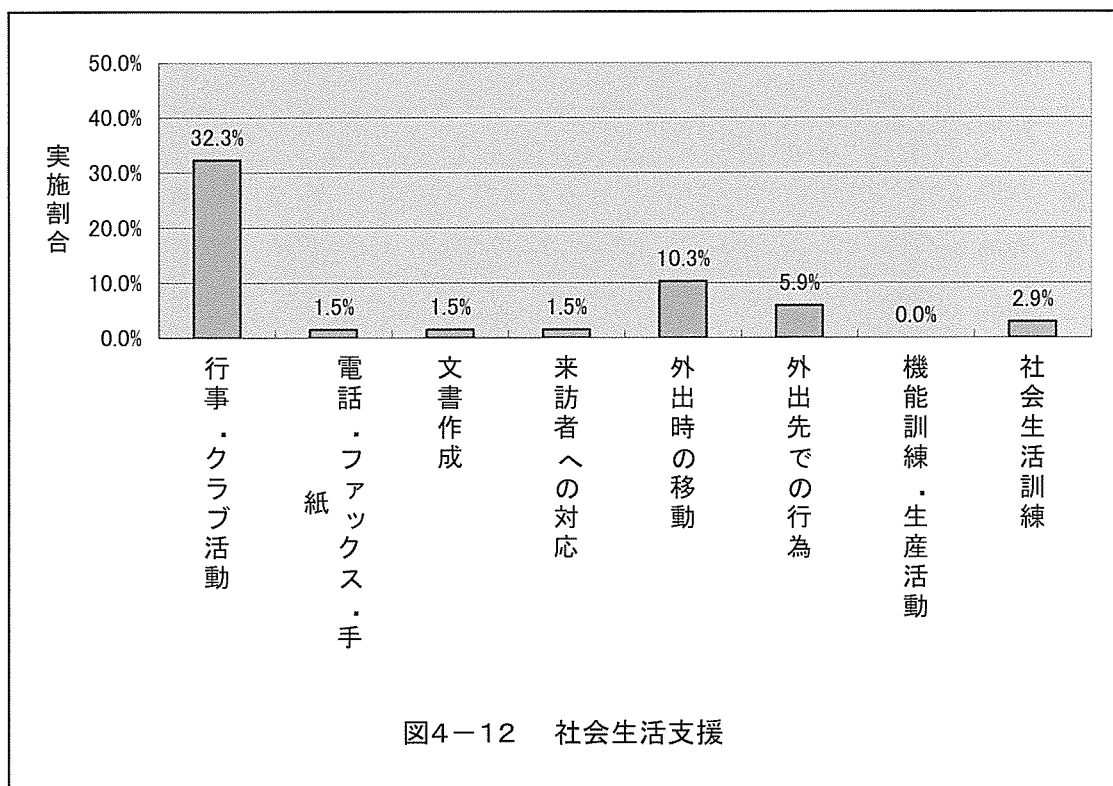


表4-9 社会生活支援

分類	実人数	実施割合	平均値	標準偏差	最小値	最大値
行事・クラブ活動	22	32.3%	1.85	3.86	0	20
電話・ファックス・E-mail・手紙	1	1.5%	0.03	0.24	0	2
文書作成	1	1.5%	0.03	0.24	0	2
来訪者への対応	1	1.5%	0.01	0.12	0	1
外出時の移動	7	10.3%	0.53	1.90	0	11
外出先での行為	4	5.9%	0.31	1.77	0	14
機能訓練・生産活動	0	0.0%	0.00	0.00	0	0
社会生活訓練	2	2.9%	0.29	0.17	0	1

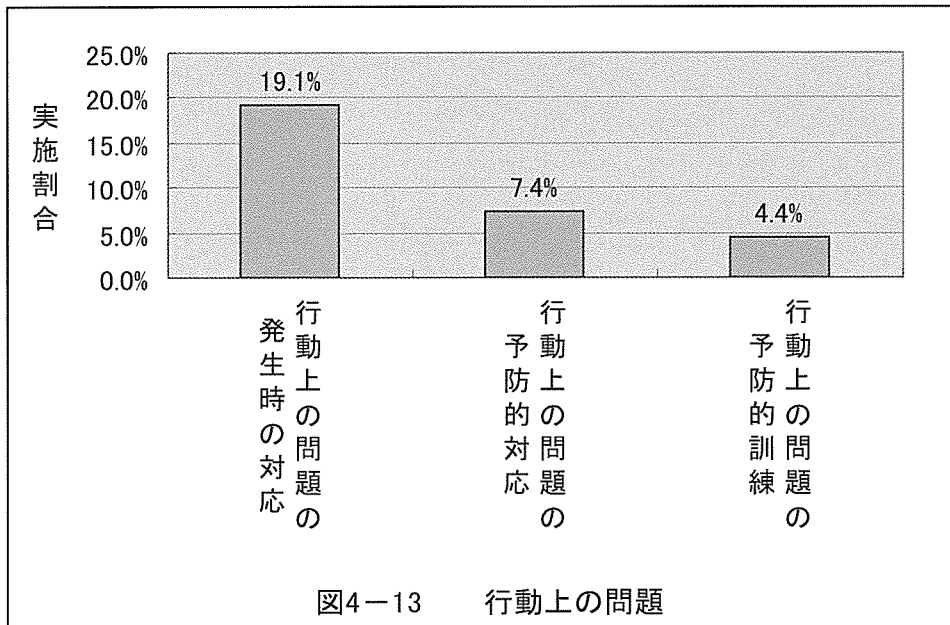


表4-10 行動上の問題

分類	実人数	実施割合	平均値	標準偏差	最小値	最大値
行動上の問題の発生時の対応	13	19.1%	1.21	5.00	0	39
行動上の問題の予防的対応	5	7.4%	0.41	2.10	0	16
行動上の問題の予防的訓練	3	4.4%	0.07	0.40	0	3

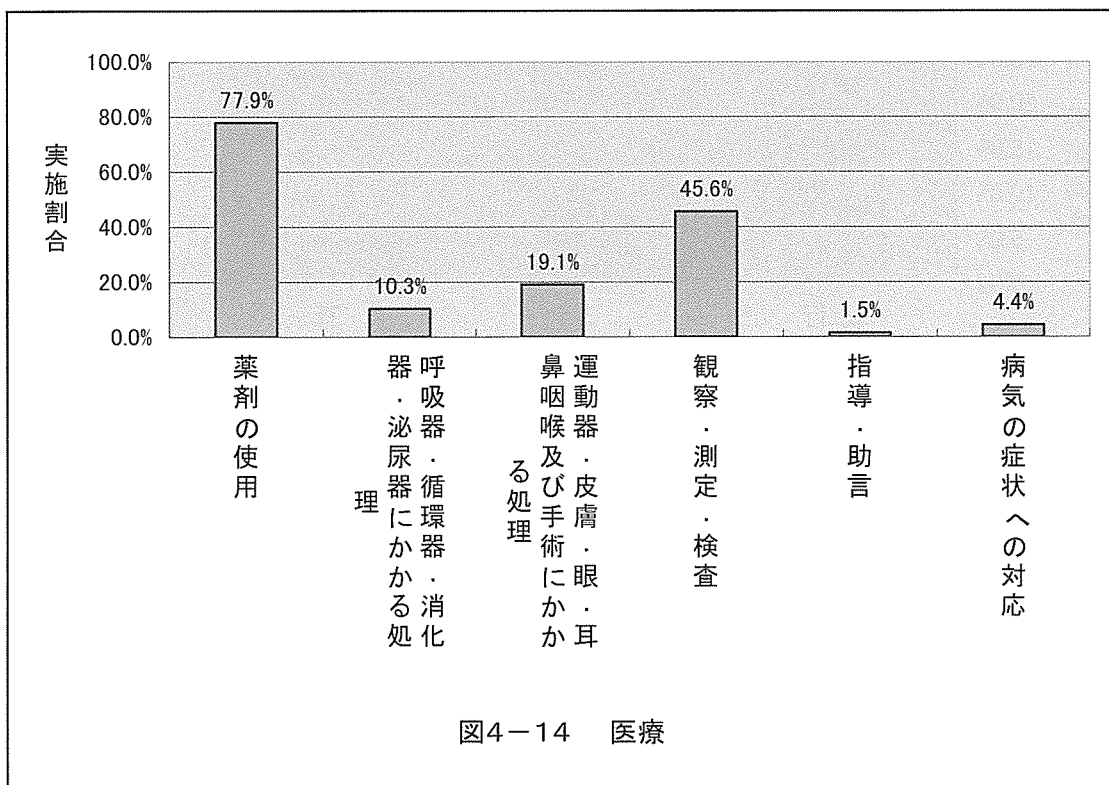


表4-11 医療

分類	実人数	実施割合	平均値	標準偏差	最小値	最大値
薬剤の使用	53	77.9%	4.16	3.83	0	16
呼吸器・循環器・消化器・泌尿器にかかる処理	7	10.3%	0.32	1.20	0	6
運動器・皮膚・眼・耳鼻咽喉及び手術にかかる処理	13	19.1%	0.41	1.56	0	12
観察・測定・検査	31	45.6%	0.99	1.49	0	6
指導・助言	1	1.5%	0.01	0.12	0	1
病気の症状への対応	3	4.4%	0.07	0.40	0	3

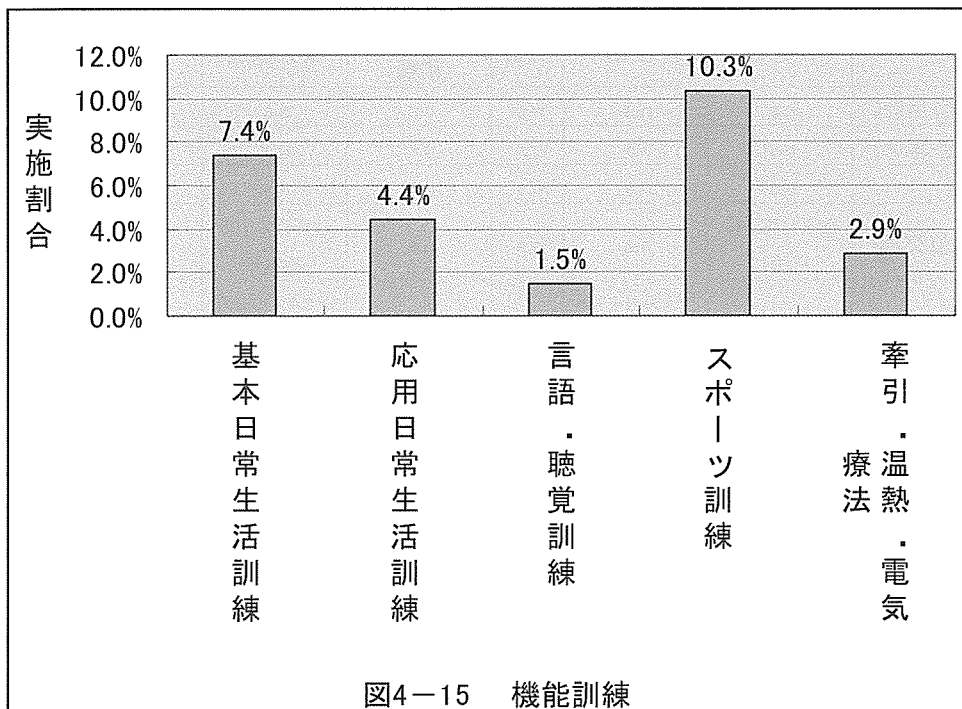


表4-12 機能訓練

分類	実人数	実施割合	平均値	標準偏差	最小値	最大値
基本日常生活訓練	5	7.4%	0.12	0.44	0	2
応用日常生活訓練	3	4.4%	0.09	0.51	0	4
言語・聴覚訓練	1	1.5%	0.01	0.12	0	1
スポーツ訓練	7	10.3%	0.19	0.63	0	3
牽引・温熱・電気療法	2	2.9%	0.03	0.17	0	1

表4-13 支援行為と属性による χ^2 検定及び分散分布の結果(P<0.5を掲載)

		事業種	入居場所	性別	認知症の種類	要介護度	年齢	入居期間
1.入浴・清潔保持・整容・更衣	洗面・手洗い	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
	口腔・耳ケア	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
	整容	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
2.移動・移乗・体位交換		$\chi^2(1)=6.140$ P=.013	n.s.	n.s.	n.s.	$\chi^2(4)=9.706$ P=.046	n.s.	n.s.
3.食事	調理	n.s.	$\chi^2(7)=14.339$ P=.045	n.s.	n.s.	$\chi^2(4)=13.937$ P=.007	n.s.	n.s.
	配膳・下膳	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
	食器洗浄・食器の片付け	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
	水分摂取	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
4.排泄		n.s.	$\chi^2(7)=20.392$ P=.005	n.s.	n.s.	$\chi^2(4)=26.000$ P=.000	n.s.	n.s.
5.生活自立支援	洗濯	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
	清掃・ごみの処理	$\chi^2(1)=11.038$ P=.001	$\chi^2(7)=21.193$ P=.003	n.s.	$\chi^2(3)=12.218$ P=.007	n.s.	n.s.	n.s.
	コミュニケーション	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
6.社会生活支援		n.s.	n.s.	n.s.	n.s.		F(1.66)=4.332 P=.042	n.s.
7.行動上の問題		n.s.	$\chi^2(7)=16.203$ P=.023	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
8.医療		n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
9.機能訓練		n.s.	$\chi^2(7)=23.006$ P=.002	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.

表4-14 事業種別と「移動・移乗・体位交換」の比較 ($\chi^2(1)=6.140$ $P<0.05$)

			移動・移乗・体位交換		合 計
			非実施	実施	
事業種別	ユニット	度数	0	45	45
		事業種の%	0.0%	100.0%	100.0%
		移動の%	0.0%	69.2%	69.2%
		調整済み残差	-2.5	2.5	
	グループホーム	度数	3	20	23
		事業種の%	13.00%	87.00%	100.0%
		移動の%	100.0%	30.80%	33.80%
		調整済み残差	2.5	-2.5	
合 計	度数	3	65	68	
	事業種の%	4.40%	95.60%	100.0%	
	移動の%	100.0%	100.0%	100.0%	

表4-15 事業種別と「清掃」の比較 ($\chi^2(1)=11.038$ $P<0.05$)

			清掃		合 計
			非実施	実施	
事業種別	ユニット	度数	42	3	45
		事業種の%	93.3%	6.7%	100.0%
		移動の%	75.0%	25.0%	69.2%
		調整済み残差	3.3	-3.3	
	グループホーム	度数	1.4	9	23
		事業種の%	60.90%	39.1%	100.0%
		移動の%	25.0%	75.00%	33.80%
		調整済み残差	-3.3	3.3	
合 計	度数	56	12	68	
	事業種の%	4.40%	95.60%	100.0%	
	移動の%	100.0%	100.0%	100.0%	

表4—16 入居場所と「調理」の比較($\chi^2(4)=14.339$ $P<0.05$)

		調理		合 計	
		非実施	実施		
入居場所	U-K ①	度数	10	0	10
		入居場所の%	100.0%	0.0%	100.0%
		調理の%	16.9%	0.0%	14.7%
		調整済み残差	1.3	-1.3	
	U-K ②	度数	13	0	13
		入居場所の%	100.0%	0.0%	100.0%
		調理の%	22.0%	0.0%	19.0%
		調整済み残差	1.6	-1.6	
	U-K ③	度数	7	0	7
		入居場所の%	100.0%	0.0%	100.0%
		調理の%	11.9%	0.0%	10.3%
		調整済み残差	1.1	-1.1	
	G-K	度数	7	1	8
		入居場所の%	87.5%	12.5%	100.0%
		調理の%	11.9%	11.1%	11.8%
		調整済み残差	0.1	-0.1	
	G-H	度数	5	2	7
		入居場所の%	71.4%	28.6%	100.0%
		調理の%	8.5%	22.2%	10.3%
		調整済み残差	-1.3	1.3	
	U-H	度数	1	2	3
		入居場所の%	33.3%	66.7%	100.0%
		調理の%	1.7%	22.2%	4.4%
		調整済み残差	-2.8	2.8	
	G-KH	度数	7	2	9
		入居場所の%	77.8%	22.2%	100.0%
		調理の%	11.9%	22.2%	13.2%
		調整済み残差	-9	9	
U-KH	度数	9	2	11	
	入居場所の%	81.8%	18.2%	100.0%	
	調理の%	15.3%	22.2%	16.2%	
	調整済み残差	-0.5	0.5		
合 計	度数	59	9	68	
	入居場所の%	86.8%	13.2%	100.0%	
	調理の%	100.0%	100.0%	100.0%	

表4—17 入居場所と「排泄」の比較 ($\chi^2(4)=20.392$ $P<0.05$)

		排泄		合 計	
		非実施	実施		
入居場所	U-K ①	度数	0	10	10
		入居場所の%	0.0%	100.0%	100.0%
		排泄の%	0.0%	19.6%	14.7%
		調整済み残差	-2	2	
	U-K ②	度数	0	13	13
		入居場所の%	0.0%	100.0%	100.0%
		排泄の%	0.0%	25.5%	19.1%
		調整済み残差	-2.3	2.3	
	U-K ③	度数	1	6	7
		入居場所の%	14.3%	85.7%	100.0%
		排泄の%	5.9%	11.8%	10.3%
		調整済み残差	-0.7	0.7	
	G-K	度数	4	4	8
		入居場所の%	50.0%	50.0%	100.0%
		排泄の%	23.5%	7.8%	11.8%
		調整済み残差	1.7	-1.7	
	G-H	度数	1	6	7
		入居場所の%	14.3%	85.7%	100.0%
		排泄の%	5.9%	11.8%	10.3%
		調整済み残差	-0.7	0.7	
	U-H	度数	1	2	3
		入居場所の%	33.3%	66.7%	100.0%
		排泄の%	5.9%	3.9%	4.4%
		調整済み残差	1.5	-1.5	
	G-KH	度数	3	6	9
		入居場所の%	33.3%	66.7%	100.0%
		排泄の%	17.6%	11.8%	13.2%
		調整済み残差	0.6	-0.6	
U-KH	度数	7	4	11	
	入居場所の%	63.6%	36.4%	100.0%	
	排泄の%	41.2%	7.8%	16.2%	
	調整済み残差	3.2	-3.2		
合 計	度数	17	51	68	
	入居場所の%	25.0%	75.0%	100.0%	
	排泄の%	100.0%	100.0%	100.0%	

表4—18 入居場所と「清掃」の比較 ($\chi^2(7)=21.193$ $P<0.05$)

			清掃		合 計
			非実施	実施	
入居場所	U-K ①	度数	10	0	10
		入居場所の%	100.0%	0.0%	100.0%
		清掃の%	17.9%	0.0%	14.7%
		調整済み残差	1.6	-1.6	
	U-K ②	度数	12	1	13
		入居場所の%	100.0%	0.0%	100.0%
		清掃の%	21.4%	8.3%	19.1%
		調整済み残差	1.0	-1.0	
	U-K ③	度数	7	0	7
		入居場所の%	100.0%	0.0%	100.0%
		清掃の%	12.5%	0.0%	10.3%
		調整済み残差	1.3	-1.3	
	G-K	度数	7	1	8
		入居場所の%	87.5%	12.5%	8.0%
		清掃の%	12.5%	8.3%	11.8%
		調整済み残差	4	-4	
	G-H	度数	2	5	7
		入居場所の%	28.6%	71.4%	100.0%
		清掃の%	3.6%	41.4%	10.3%
		調整済み残差	-3.9	3.9	
	U-H	度数	2	1	3
		入居場所の%	66.7%	33.3%	100.0%
		清掃の%	3.6%	8.3%	4.4%
		調整済み残差	-0.7	0.7	
	G-KH	度数	6	3	9
		入居場所の%	66.7%	33.3%	100.0%
		清掃の%	10.7%	25.0%	13.2%
		調整済み残差	-1.3	1.3	
U-KH	度数	10	1	11	
	入居場所の%	90.9%	9.1%	100.0%	
	清掃の%	17.9%	8.3%	16.2%	
	調整済み残差	0.8	-0.8		
合 計	度数	56	12	68	
	入居場所の%	82.4%	17.6%	100.0%	
	清掃の%	100.0%	100.0%	100.0%	

表4—19 入居場所と「行動上の問題」の比較($\chi^2(7)=16.203$ $P<0.05$)

		行動上の問題		合 計	
		非実施	実施		
入居場所	U-K ①	度数	6	4	10
		入居場所の%	60.0%	40.0%	100.0%
		行動の%	11.8%	23.5%	14.7%
		調整済み残差	-1.2	1.2	
	U-K ②	度数	10	3	13
		入居場所の%	76.9%	23.1%	100.0%
		行動の%	19.6%	17.6%	19.1%
		調整済み残差	0.2	-0.2	
	U-K ③	度数	3	4	7
		入居場所の%	42.9%	57.1%	100.0%
		行動の%	5.9%	23.5%	10.3%
		調整済み残差	-2.1	2.1	
	G-K	度数	8	0	8
		入居場所の%	100.0%	0.0%	100.0%
		行動の%	15.7%	0.0%	11.8%
		調整済み残差	1.7	-1.7	
	G-H	度数	3	4	7
		入居場所の%	42.9%	57.1%	100.0%
		行動の%	5.9%	23.5%	10.3%
		調整済み残差	-2.1	2.1	
	U-H	度数	2	1	3
		入居場所の%	66.7%	33.3%	100.0%
		行動の%	3.9%	5.9%	4.4%
		調整済み残差	-0.3	0.3	
	G-KH	度数	9	0	9
		入居場所の%	100.0%	0.0%	100.0%
		行動の%	17.6%	0.0%	13.2%
		調整済み残差	1.9	-1.9	
U-KH	度数	10	1	11	
	入居場所の%	90.9%	9.1%	100.0%	
	行動の%	19.6%	5.9%	16.2%	
	調整済み残差	1.3	-1.3		
合 計	度数	51	17	68	
	入居場所の%	75.0%	25.0%	100.0%	
	行動の%	100.0%	100.0%	100.0%	